

記録部の一日

畑平 すみれ
記録部第三課
(平成25年入局)

最近はテレビドラマをよく見るようになりました。海外ドラマを含め、月15本ほど視聴しています。「積ん読」も解消したいのですが、常に本の購入量が読書量を上回るため、達成できていません。



8:50 出勤	自分の担当会議・時間等を確認する。
9:40 原稿作成	1回目の担当は9:40～9:45の総務委員会。臨場者*が記録した臨場経過表で発言者や不規則発言等の委員会情報を確認。音声自動認識システムにより出力された文字データを、実際の音声を聞きながら修正する。一次原稿を印刷し、固有名詞等の調査や音声照合を重ね、朱を入れていく。原稿を精読して完成。 *経験を積んだ原稿作成者が務める。委員会に出務し、現場でしか把握できない情報を記録する。
11:45 原稿作成	1回目の原稿を提出し、すぐ2回目の原稿に取りかかる。今度の担当は11:45～11:50の国土交通委員会。耳慣れない専門用語が頻出するため、特に集中して音声を聞く。
12:00 昼休み	切りのいいところで昼食を取る。
13:00 原稿作成	原稿作成を再開。処理に迷う発言があり、校閲担当者に指示を仰ぐ。誤字脱字、誤聴がないか確認し、原稿を提出。
15:00 原稿作成	最後の担当は15:00～15:05の本会議。本来であれば速記者と一緒に議場に入るが、感染症対策のため、自席で審議中継を視聴する。本会議は委員会と比べて、議事の見出しなど、様式の処理に注意すべき点が多い。先例と照らし合わせながら、注意深く作業する。
17:45 業務終了	原稿を提出し、本日の業務は終了。

議会の歴史を記録する

国会審議中継を御覧になったことはあるでしょうか。ニュースや新聞で、あるいは、よくテレビで中継される予算委員会を見たことのある方もいらっしゃるかもしれません。

国会で開かれる本会議や委員会全ての議事を記録し、会議録を作ることが記録部の仕事です。以前は手書き速記の技術を習得した速記者だけの仕事でしたが、音声自動認識システムが導入され、一般の職員も会議録作成の業務に従事することになりました。

国会での議論がそのまま仕事に直結していることが、この仕事の面白いところです。自分の担当部分その日のニュースで取り上げられるのを初めて見たときは、不思議な高揚感を覚えました。

国の中枢である国会において、日々どんなことが話し合われているのか。それらを記録し、後世につなぐ記録部の仕事に興味を持っていただければ幸いです。

